

希望の鐘

第158号

ひとつのつぼみはいちどしかひらかない

前期学校評価アンケート集計結果公表

7月に実施しました前期学校評価アンケートの結果をお知らせします。数値は3と4を足した割合で、この数値が高いほど達成度が高いこととなります。11月から12月にかけて、もう一度同じアンケートを実施し、比較・検討をして、今後の学校経営に生かしてまいります。ご協力ありがとうございました。

・保護者アンケート回答（上段前期、下段後期）

	質 問 項 目	1年	2年	3年	全校
1	子供はコナノートを使って予習復習に取り組んでいる。	87	88	85	86
2	学校（先生）は、子供に分かる授業を行っていると思う。	96	90	81	89
3	子供は授業準備（忘れ物をしない）や提出物をしっかりやっている。	83	83	85	84
4	子供の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	74	88	85	82
5	子供の様子を見て、家庭でも読書の習慣が身についていると思う。	41	38	39	39
6	進んであいさつや返事をするよう子供と話し合っている。	81	90	80	83
7	子供が「学校に遅れるからいけない」というような時でも、毎朝子供に朝食をとらせている。	89	93	93	91
8	家庭では掃除、食事の準備や後始末など家事の手伝いをさせている。	69	80	67	71
9	子供の正しい生活習慣（早寝・早起き等）づくりに努めている。	69	85	70	74
10	テレビやゲーム、SNSは時間を決めて長々と遊ばないようにしている。	70	65	56	64
11	学校（先生）は、生徒の悩みやいじめの解消に向けて努力していると思う。	91	87	89	89
12	子供は楽しく学校生活を送っていると思う。	85	98	94	92
13	学校からのお知らせ、学校だよりや学年・学級通信等のプリントは読んでいる。	96	95	87	93
14	安全安心情報システムや学校HPを見て、学校からの情報を得ている。	87	88	93	89
15	学校での出来事を子供と話し合っている。	89	75	94	87
16	授業参観や保護者集会、懇談会には参加するようにしている。	69	75	81	75
17	学校（先生）は子供が頑張ったことを認めてくれていると思う。	94	90	83	89
18	子供は自分のことが好きである（肯定的にとらえている）と思う。	91	93	91	91
19	子供は家族や友人、先生から認められたり必要とされていると感じていると思う。	91	98	96	95

・生徒アンケート回答（上段前期、下段後期）

	質 問 項 目	1年	2年	3年	全校
1	コナノートを移用して、予習・復習に取り組んでいる。	96	91	83	95
2	毎時間の授業の流れがわかり、内容も理解できている。	95	84	78	85
3	授業でペア学習やグループ学習を行うと、授業内容がよくわかる。	88	86	81	85
4	授業では姿勢を正し、板書等をしっかりノートにまとめている。	95	86	92	91
5	自分の将来の夢や希望する進路について親子で話し合っている。	59	65	90	72
6	朝読書以外にも家で読書している。	77	58	46	60
7	進んで大きな声であいさつや返事をしている。	75	93	90	85
8	毎朝、朝食をとっている。	91	98	93	94
9	給食の準備や後始末を進んで行っている。	93	88	98	94
10	清掃にしっかりと取り組んでいる。	95	84	95	92
11	早寝・早起きを心がけて生活している。	91	79	78	83
12	テレビやゲーム、スマホ（SNS）は時間を決めて遊んでいる。	82	81	66	76
13	学習や悩みごと、いじめに関する事など先生に気軽に相談できる。	82	69	83	79
14	学級は居心地がよいと思う。	91	88	92	90
15	行事の成功に向けて積極的に活動しているので、学校行事は楽しい。	95	100	93	96
16	学校だよりや学級通信などの「たより」を家の人に渡している。	98	88	88	92
17	参観日や諸連絡などの「お知らせ」を家の人に渡している。	98	91	93	94
18	学校での出来事を家の人に話している。	86	86	90	87
19	先生は頑張ったことを認めてくれる。	100	91	93	95
20	自分のことは好きである。	65	65	61	64
21	自分は家族や友人から認められたり、必要とされていると思う。	84	74	76	78

評価結果から考えられること

- ・コナノートの活用に関しては、保護者・生徒とも評価が高い。今後もコナノートを活用して、基本的な生活習慣、学習習慣の定着を図りたい。
- ・分かりやすい授業に関しては、保護者・生徒とも評価が高い。慢心することなく今後も分かりやすい授業をすすめていきたい。
- ・悩みやいじめ解消では2年生生徒の評価が低い。この原因を考えなければならない。今後も生徒の様子をよく観察するとともに、気軽に相談できる体制や生徒と教師の良好な人間関係づくりを構築していかなければならない。
- ・自己肯定感に対する項目では保護者と生徒の評価が一番大きく異なっている。生徒への質問の表記を分かりやすいよう、具体的に変える必要がある。